

教えて!

vol.64

市立病院

テーマ

前立腺の病気

今月のドクター

副院長兼
泌尿器科長
長岡 明 医師



前立腺肥大症

前立腺は精液を作る臓器で、男性の膀胱ぼうこうの出口にあり尿道が中を通ります。前立腺の肥大が起こると、尿が出にくい・尿が近いといった症状のほか、夜間頻尿、残尿感、尿腺途絶、遷延性排尿(排尿に時間がかかる)の症状が出ます。治療には薬物療法と手術療法があり、当院では出血の少ない身体にやさしいレーザー手術を行うなど、患者さんに合わせた治療法を選択します。

前立腺癌

日本人男性の癌罹患率1位となった前立腺癌は、現在PSA(前立腺特異抗原)の採血とMRIを組み合わせることで早期発見が可能です。治療には内分泌療法、化学療法、放射線治療、手術療法があり、患者さんと相談の上で選択します。ロボット補助手術や放射線治療(将来的には重粒子線治療)は山形大学と連携して治療を行っています。

慢性前立腺炎

慢性前立腺炎は20歳以上の男性に多く見られ、こうがん 辜丸、しんのう 陰囊、そけいぶ 鼠径部、えいんぶ 会陰部などに違和感や鈍痛を自覚する病気です。細菌やウイルスなどの感染症が原因となるほか、長時間の会陰部の圧迫や骨盤内のうっ血でなることもあります。治療は薬物療法が行われますが、なかなか治りにくく治療が長期に及ぶことが珍しくありません。

いずれも、早めの受診で原因をつきとめて治療すると症状の進行が防げます。詳細は市民公開セミナーでお話ししますので、気になる症状がある人や興味を持った人は是非おいでください。

<市民公開セミナーを開催します>

■日時/8月25日(土)開場9時30分・開演10時

■場所/すこやかセンター ■参加費/無料※申込不要

■問合せ/市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450